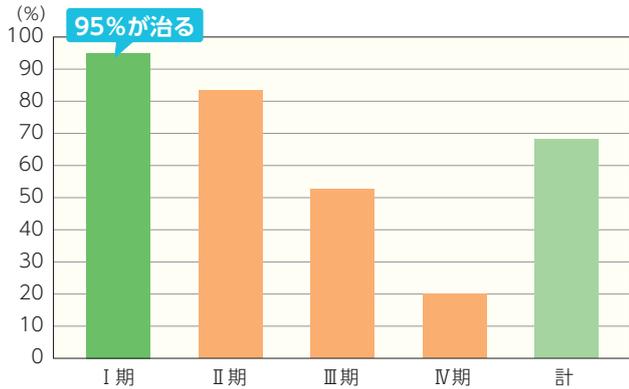


がんの早期発見による効果

早期がんは約95%治る

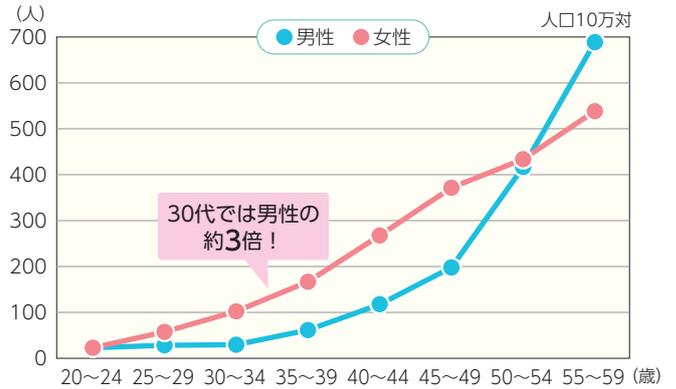
がんの進行度別に見た5年生存率



出典：全国がん(成人病)センター協議会2004年～2007年診断例

30代女性のがんは男性の約3倍

男女別・年代別に見たがんの罹患率

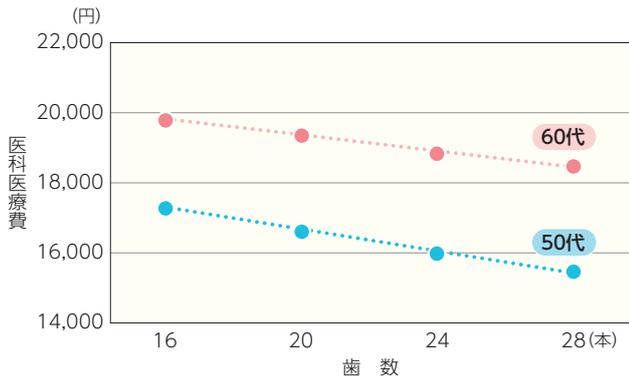


出典：国立がん研究センターがん対策情報センター

歯の健康と医療費

歯の本数が多いほど医科医療費は低い

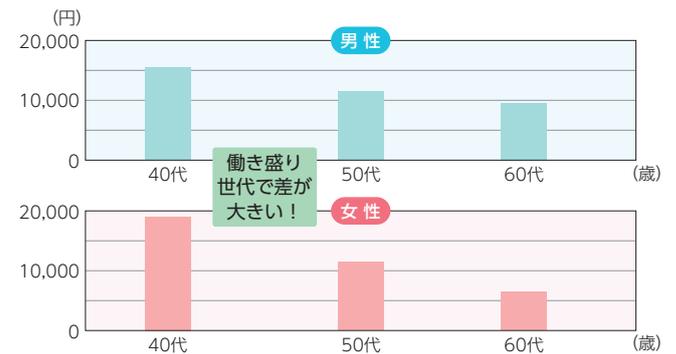
歯数と1か月医科医療費



出典：Health Science and Health Care 2017;17(1)：36-37

歯の対策は若いうちから必要

20歯以上と19歯以下の1か月医科医療費の差

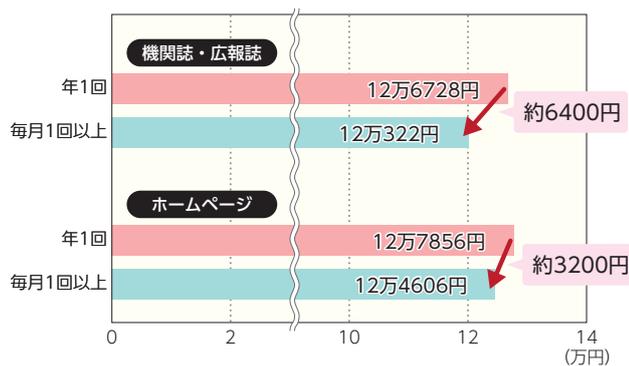


出典：日本歯科医療管理学会誌 51(3),136-142,2016を改編

ポピュレーションアプローチの重要性

広報頻度が高いほど医療費は低い

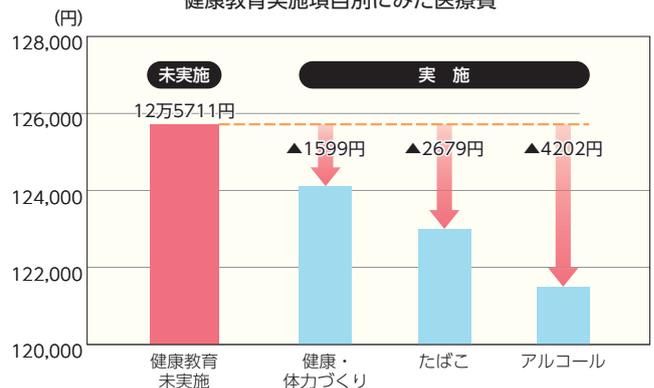
広報誌発行・ホームページ更新頻度と医療費



出典：健康保険組合連合会「健康保険組合における保健事業の運営実態と医療費との関連分析」

健康教育を実施していると医療費は低い

健康教育実施項目別に見た医療費

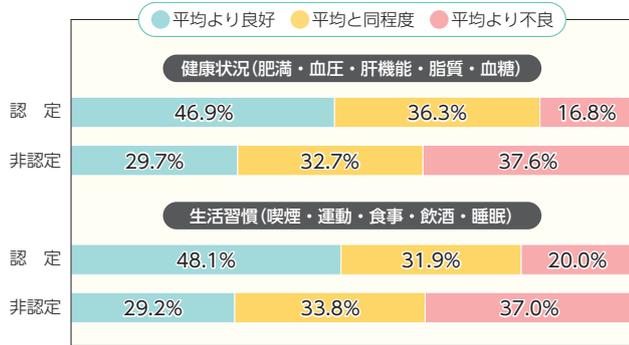


出典：健康保険組合連合会「健康保険組合における保健事業の運営実態と医療費との関連分析」

健康経営による効果

認定企業の従業員は健康状況、生活習慣ともに良好

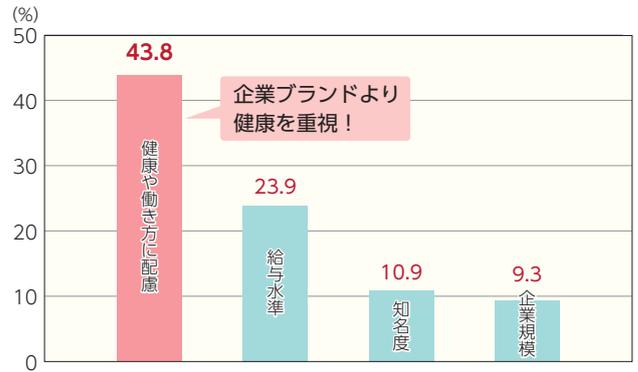
健康経営優良法人認定企業における健康状況



出典：日本健康会議「健康スコアリングレポート2018の集計結果」を改編

健康経営は人材確保に効果

就活生が企業を選ぶ際に重視する項目

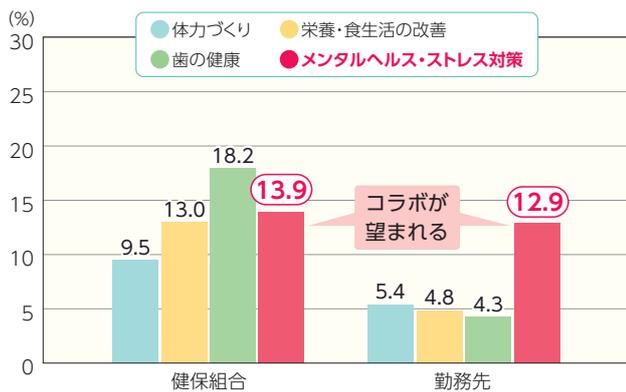


出典：経済産業省「平成28年度健康経営度調査」を改編

メンタルヘルス対策

健保組合と勤務先の連携が望まれる

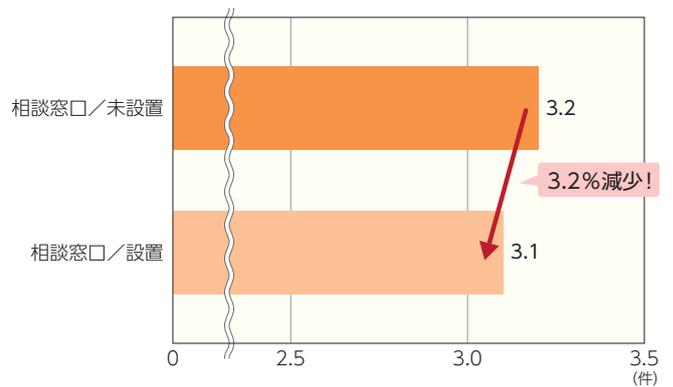
事業別にみた加入者が関与してほしい相手



出典：健康保険組合連合会「保健事業の運営実態からみた健康保険組合の優位性に関する調査研究」

相談窓口の有無は傷病手当金件数と関係

相談窓口の設置状況と100人当たり傷病手当金件数



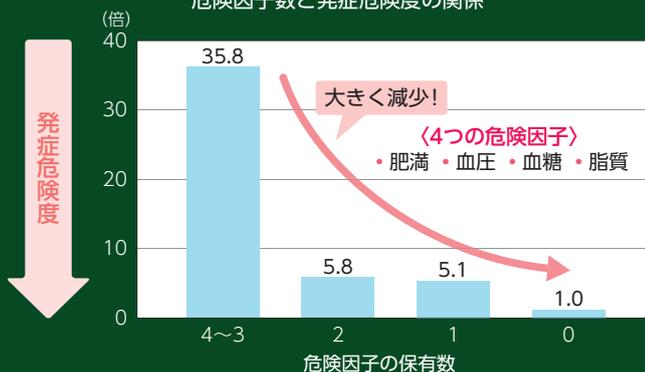
出典：健康保険組合連合会「健康保険組合における保健事業の運営実態と医療費の関連分析」

参考

特定健診・保健指導の効果 危険因子が減少すると医療費も下がります

脳卒中、心疾患を発症する危険度が低下

危険因子数と発症危険度の関係



出典：労働省作業関連疾患総合対策班の調査を改編：Nakamura et al. Jpn Crit J.65:11.2001)

保健指導参加者の外来医療費が低い

特定保健指導(積極的支援)参加者と不参加者の医療費の差 ※男性の場合



出典：特定健診・特定保健指導の医療費適正化効果等の検証のためのワーキンググループ 取りまとめ(平成28年4月13日)を改編